

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		・ 多人数時外部施設(公園等)を利用できている ・ 空間は取れている ・ 利用児童が一斉下校の際は事業施設以外の場所で過ごすなど工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか	7			・ 適切な数でストレスなく行えている ・ 人員に合わせて人数を変えている ・ グループ分けで適切に配置されている ・ 利用児童の数に合わせて職員のシフトを調整を行っている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	1	・ 必要な際には配慮の対応が出来るようになっている ・ 職員が必要に応じて補助している ・ 民家を利用しているのでバリアフリー化とまではいかない ・ 必要時スロープ等の設置をする
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			・ ミーティングの実施 ・ 職員会議を行っている ・ 日々の職員会議で行うようにしている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・ 5 月初めに出すアンケートがある ・ 保護者にもアンケートを実施している ・ 日々の職員会議等で行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・ ブログに公表している ・ 公開されている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		・ 現在は行っていないが、必要になったら外部評価を行える体制はある
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・ 研修には積極的に参加している ・ 研修参加については常に開催日時を情報共有されている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・ 施設長が常に取り組んでいる
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			・ エビデンスに基づく支援を行うようにアセスメントツールを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・ 職員会議で話し合いをしている ・ 施設長はじめ職員が意見交換を行いプログラム立案を行っている

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・職員会議で話し合いをしている ・個々の個別支援計画に基づき工夫されたプログラムの内容になっている
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			・宿題の量に対応している ・自立、学習支援をはじめ社会経験を個々が積み主体性を育むように細やかに設定されている
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・作成されている
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・支援における注意点をしっかりと共有するように心がけている ・前日または当日にその日のプランを確認することが出来ている ・日々行っている
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・重要なことは特に必ず共有するようにしている ・日々、その都度または帰りに行っている ・時間がない時は記録し、後日改めて伝える
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・記録を参考に改善に繋げられるようにしている ・職員間で行っている

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		・職員との情報共有を行い、保護者、本人との面談を行い見直しを行っている ・6ヶ月に1度計画書の見直しを行っている
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			・行っている
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・現在参加していないが、開催されたときには管理者が参加できるようにしている
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・ケース会議を行っている ・状況に応じその都度行っている
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		・受け入れる場合は主治医と連絡できるようになっている ・現在該当児童はないが、必要な時は連携が取れる体制はある

関係機関や保護者との連携

関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・施設長が参加し、内容を職員に共有している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			・現在はないが、移行があった時には情報提供できるようにしている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			・研修に参加している ・年数回の研修に参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7			・児童館等に行く機会がある ・日々の活動プログラムに組み入れている
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7			・参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・保護者と伝えあえるタイミングで伝えるようにしている ・帰りの送迎時に保護者と話をしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			・ペアレントトレーニングに関しては近いうちにやっていこうと考えている
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・契約時に保護者に説明をしている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・施設長が随時相談に応じ必要な助言と支援を行っている
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			・あにまるなどを年1開催し保護者同士の連携を図っている
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・適切に対応している ・施設長に報告を行い、職員で話し合いながら適切な対応方法を検討している
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・紙媒体などで発信している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	7			・個人情報の扱いには十分に気を付けている
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・それぞれに合った配慮を心掛けている

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			・ イベントを開催し、地域の方にも参加していただいている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			・ 玄関に置いてあり、いつでも閲覧できるようにしている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・ 定期的に行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・ 研修には積極的に参加している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			・ アレルギー対応の子が来た際にはすぐに対応できるようにしている ・ 現在該当する児童はいないが、必要な時には連携を取れるようにしている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・ 共有している

2026_05